



Bクラス(2級・3級)成績表

優勝戦												参 加	
2	2	1	3	0	3	2	0	2	1	2	1	3	2
0	0	X	0	X	田	X	X	0	X	0	0	0	0
吉	田	大	植	若	不	森	唐	鳴	横	駒	矢	吉	吉
國	到	城	木	田	城	田	木	根	田	昇	レ	吉	吉
0	0	③	0	③	X	0	0	X	X	0	X	0	0
修	不	正	吉	吉	唐	横	植	駒	高	田	吉	吉	吉
根	田	城	木	田	木	根	木	喜	永	頭	吉	吉	吉
X	X	0	X	0	0	X	0	X	0	X	0	0	0
大	侵	森	田	高	駒	鳴	植	吉	唐	西	吉	吉	吉
越	田	田	頭	永	永	昇	根	木	国	木	田	田	田
12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	NO.	參 加
模	大	田	森	駒	高	植	鳴	唐	吉	吉	西	氏	氏
田	越	頭	永	永	木	根	木	國	田	田	田	田	田
利	早	昇	邦	邦	正	昭	伸	正	國	另	陽	名	者
治	另	昇	邦	邦	延	昭	伸	章	另	陽	名	者	者
2	3	1	1	2	3	1	1	1	1	1	1	1	1

Cクラス(初級・準初級)成績表

優勝戦												参 加	
1	1	1	3	0	1	2	2	1	3	1	3	2	2
X	X	X	0	X	田	0	0	X	0	0	0	0	0
益	森	有	良	松	不	威	新	星	堤	堤	田	辺	者
手	川	水	島	本	寺	寺	新	星	堤	堤	手	益	者
X	0	0	0	X	X	X	X	田	0	0	0	0	0
清	新	葉	松	田	寺	寺	新	星	堤	堤	手	益	者
水	津	本	本	井	寺	寺	川	1	堤	堤	手	益	者
0	X	X	0	X	X	X	0	0	X	0	0	0	0
新	浦	星	堤	寺	寺	寺	新	菜	良	松	浦	浦	者
津	水	水	水	寺	寺	寺	川	本	島	本	浦	浦	者
14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
好	田	堤	星	寺	寺	寺	新	菜	良	松	浦	浦	氏
鳴	鶴	寺	寺	寺	寺	寺	寺	本	島	本	浦	浦	氏
徳	竹	双	徳	寺	寺	寺	徳	義	好	時	美	徳	徳
初	鳴	好	徳	寺	寺	寺	初	時	美	徳	徳	徳	者
4	"	"	"	初	寺	寺	初	時	美	徳	徳	徳	者

## D-E行次(2級~10級)成績表

平澤

		優勝戦											
三位決定戦	勝本根吉男	勝	吉	山	牧	又	野	喜	原	中	原	細	勝
勝	本	根	吉	山	牧	又	野	喜	原	中	原	細	勝
本	根	吉	男	山	牧	又	野	喜	原	中	原	細	勝
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
勝	本	根	吉	山	牧	又	野	喜	原	中	原	細	勝
勝	本	根	吉	山	牧	又	野	喜	原	中	原	細	勝
1	2	3	2	1	2	3	2	1	2	3	2	1	2
級	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

&lt; &gt;

## 地区別名人決定(前期)

地区別	級	氏名	地区別	級	氏名
勝川	7	源田誠次	由井	6	三上清彦
元八王子	6	佐藤豊志	木	5	板浦辰寿
中野	5	猪野照明	野	5	鈴木正暉
大和田	4	根本宗紀	辰	4	坂原和利

## 団体対抗戦参加者(6回戦7月19日)

団体	氏名	団体	氏名	団体	氏名	団体	氏名
由井	元八	記録	辰郎	小林	秀	小川	秀
6 6	三上清彦	6 6	大川脩男	6 6	小林淳三	6 7	小川秀
5 5	源田豊志	5 5	佐藤豊志	5 5	石川正	5 6	小西徹
4 4	福田誠	4 4	西山春二	4 4	辰田收	4 4	坂浦和利
3 3	板浦辰寿	3 3	小田果	3 3	水野善夫	3 3	山崎勝
2 2	吉田国男	2 2	辰鳥宏	2 2	西脇国藏	2 2	佐木慶北
2 2	前田立石	2 2	連	初	河津信雄	初	田中昌一
2 2	城	2 2	大林	2 2	大林	2 2	中木
6 7	猪野剛	6 5	中田朝	6 6	鈴木孝治	6 7	佐江峻
5 4	大河原耕	5 5	猪野照明	5 4	遠藤誠草	5 5	板浦辰寿
4 3	吉田透之	4 4	山内敬夫	4 4	天野翠柳	4 5	森貴
3 3	鳩田萬明	3 2	小林次郎	3 3	若田伸	3 3	高木昭
2 2	小野寺敬宣	2 2	石野博隆	2 2	佐藤文豪	2 2	猪野昭保
初	折井豊	初	植松義一	初	安田実	初	藤村哲輔

(3)

○

## 光沢日本橋止のための整備用具北野木会

日 時 平成10年6月28日午前9時  
 会 場 北野寺民セタ一(北野町543-3, 電 43-0440)  
 主 催 北野寺同善団好会(会長, 山本徳美 北野金2-31-9, 電 35-4510)  
 共 催 八王子の善と練込善人連合(善友連)  
 後援 八王子市, 八王子市教委委員会, 日本樹木院  
 参加資格 年の北野事務所管内に在住している60才以上, 10級以上  
 の園芸爱好者。

参加費 700円(半相当五合米)  
 繼拔方法 △クラス別に入賞者(3位迄)を決定し, 賞状, 前後賞与三分  
 特典 成績により下記大会に推薦の方。

8月30日開催の八王子大会  
 繰拔成績 次の通り。

A75式(4段以上)成績表

A75式(4段以上)成績表													多選
優勝戦													
⑤×× 〇×〇×〇 田〇××〇〇 三 不井新 矢倉山早中不 俊山木三 戸村保 本川田成谷織田織吉 二 △〇× 〇×××〇〇〇×〇〇 二 中義伸 新山田倉山木中織佐早二 村益謙 本木本保田中日織谷田金木川 二 〇〇× ×〇×××〇××〇〇×〇〇 二 山中山中早美井山金保永保五中治 二 本木木保田中日織谷田金木川 二 織田織川田保田中金谷田金木川 二													
三位決定戦													
才三位 中村山本金保 中村山本金保 佐山本木金保 不本木金保 康山本木金保 徳山本木金保 英山本木金保 男山本木金保 ×× 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇													
15×43 211109 87654321 NO.	佐山中井山亮早山新織谷保永中田 1 木本田川木保田本保田中村中氏 1 織田織川田保田中金谷田金木川 1 彦三久山美部英昭次織田一也男心 1 4.64.65.64.55.47.64.46.7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	多選

(14)

### Bクラス(2級・3級)成績表

1	1	2	2	1	2	1	0	1	1	0	1	3	2	3	2	2	1	0	3	2	2	1	2	計
X	X	O	X	O	X	O	X	X	X	X	O	O	O	O	O	O	X	O	O	O	X	X	O	總
笠屋	高若	雨	麻	展	片	那	川	移	木	横	國	歸	小	刀	久	少	火	飯	武	若	田	产	津	不
原	被	果	杯	唇	木	田	被	國	口	木	横	田	产	津	地	不	保	御	象	嚴	方	田	产	津
O	O	X	O	X	O	X	X	X	X	X	O	X	O	O	O	X	X	O	O	O	X	X	O	總
刀	笠	若	雨	形	高	山	被	金	石	片	移	高	横	和	小	廣	國	水	久	森	屋	横	不	神
根	原	林	寢	本	泉	木	金	金	木	片	國	津	津	木	田	田	田	飯	木	屋	横	不	神	原
X	X	O	O	X	O	X	O	O	X	O	O	O	O	O	X	O	X	O	X	O	O	X	O	總
久	紺	武	刀	夷	廣	山	雨	森	小	高	笠	不	片	若	雨	川	被	木	飯	木	屋	木	回	久
保	田	藤	根	产	瀬	圓	津	田	地	井	原	保	田	产	藤	木	木	屋	木	屋	木	屋	木	回
25	24	3	2	2	2	2	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
移	武	和	國	刀	山	慶	森	鳥	新	小	笠	行	不	片	若	雨	川	被	木	飯	木	屋	木	回
本	蕭	日	广	根	木	不	被	田	津	東	地	原	保	林	同	本	唐	木	木	屋	木	屋	木	回
俊	至	正	一	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正
三	輝	一	御	樹	林	畫	美	仁	政	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	正
2	3	2	3	3	3	2	3	3	2	2	2	3	2	2	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1

### Cクラス(初級・準初級)成績表

0	3	1	1	2	2	1	2	2	3	2	計
X	④	X	O	X	O	X	④	O	O	2	三
死	不	滅	林	武	大	希	田	不	原	進	回
上	歲	歲	地	中	歲	歲	中	歲	歲	歲	歲
X	O	O	X	O	X	O	④	⑦	豎	二	二
原	田	武	夷	菊	佐	強	死	不	不	舊	回
中	中	瀧	崎	地	蘆	陽	上	陽	在	歲	歲
X	O	X	X	O	O	X	X	X	O	2	二
田	原	佐	強	光	蘆	菊	中	蘆	大	林	回
中	中	瀧	陽	上	蘆	中	瀧	地	蘆	歲	歲
11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	No.
武	原	地	蘆	田	菊	尾	杯	大	夕	參	參
藤	上	陽	中	村	地	蘆	陽	夕	夕	夕	夕
吉	正	路	約	約	吉	樂	樂	夕	夕	夕	夕
男	二	正	保	雄	和	敬	博	生	后	加	加
新	初	新	四	四	初	樂	四	四	者	者	者

### Dクラス(2級・4級)成績表

0	2	3	3	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1
X	0	③	0	③	X	X	0	O	X	2	三														
海	小	不	田	不	海	海	海	不	田	不	海														
田	林	歲	歲	歲	田	歲	歲	歲	歲	歲	歲														
X	O	O	O	O	X	O	O	X	O	X	2	二													
升	久	久	小	指	田	不	中	不	坪	坪	坪														
/	口	保	我	林	田	中	歲	歲	歲	歲	歲														
X	X	O	O	X	O	O	X	O	X	O	2	二													
木	木	中	坪	不	來	稻	田	小	坪	坪	坪														
木	木	中	坪	不	來	稻	田	小	坪	坪	坪														
原	田	中	口	內	稻	田	稻	林	園	芳	芳														
12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	No.													
小	久	井	田	研	中	朱	久	田	指	堀	八	參													
口	保	口	中	內	稻	稻	稻	田	堀	堀	堀	參													
大	豐	草	和	和	草	公	豐	堀	堀	堀	堀	加													
シ	正	大	裕	雄	男	吉	放	御	正	平	名	者													
新	初	新	四	四	初	樂	四	四	者	者	者	者													

Aクラス優勝戦

優勝	
三位決定戦	谷
優勝	谷
久保	久保
大坂	大坂
久保林不近	久保林不近
近賀	近賀
宏生	宏生
2323	2323

Bクラス優勝戦

優勝	
三位決定戦	林
大坂	林
佐藤	佐藤
大坂林	大坂林
勝利	勝利
佐藤昭博	佐藤昭博
昭博	昭博
1101	1101

Cクラス優勝戦

優勝	
三位決定戦	坪内
田中	田中
村口	村口
草治	草治
正和	正和
3243	3243

Eクラス(5級~10級)成績表

平澤

優勝	
三位決定戦	甲斐
甲斐	甲斐
元山	元山
甲斐天小丸	甲斐天小丸
天小丸	天小丸
正義弘志	正義弘志
65	65

優勝	
三位決定戦	甲斐
甲斐	甲斐
元山	元山
甲斐天小丸	甲斐天小丸
天小丸	天小丸
正義弘志	正義弘志
65	65

18)

团体対抗戦成績表(5回戦(毎2/日))

該月4-6(勝率1) 中嶺4-6(勝率2)

名別	中野	6	5	4	3	2	初	勝計
6 篠川	野口	10	中田	15	坂井	4	X林木	2
6 鹿児	0	0	0					3
5 藤田	4	X	X	0				1
4 桂上	4	X	0	X				1
3 橋場	3				X	0	X	1
2 相川	2				X	X	X	0
初選	中初				0	X	X	1
勝計		2	1	1	2	2	3	11 7

行野4-6(勝率1.5) 北嶺4-6(勝率2.5)

名別	北嶺	6	5	4	3	2	初	勝計
6 金野	山本(勝)	6	川口	16	中村	4	山木	3
6 佐原	5	X	X	0	山本(同)	2	川口	1
5 大庭	5	X	0	X				1
4 清水	5	0	X	X				1
3 山崎	3				X	X	0	1
2 榎本	2				X	X	X	0
初選	中初				X	X	X	0
勝計		2	2	2	3	3	2	14 4

大和田4-6(勝率0.5) 長房4-6(勝率X.5)

名別	大和田	6	5	4	3	2	初	勝計
6 不破田	小川	6	佐藤	5	板井	4	関口	3
6 三井	5	X	X	0	石川	2	石川	1
5 藤田	4	X	X	X				0
4 田中	4	X	X	X				0
3 安藤	3				0	X	0	2
2 後藤	0				0	X	X	1
初選	中初				X	0	X	1
勝計		3	3	2	1	2	2	13 5

油木4-6(勝率4.5) 由井4-6(勝率3.5)

名別	油木	6	5	4	3	2	初	勝計
6 油木	三上	6	藤田	5	福田	4	根島	3
6 枝浦	6	X	X	0	吉田	2	吉田	1
5 枝浦	5	0	X	0				2
4 白石	4	X	X	0				1
3 沖野	2				X	X	0	1
2 藤村	0				X	X	0	1
初選	中初				0	0	0	3
勝計		2	3	0	2	2	0	9 9

(7)

## 開基讃歌

開基は、莫善美を造及する人間活動である。

開基には、聖學があり、道徳があり、そして、藝術がある。

大學論とは、時空を超えた绝对の存在。

有根底る盤面は、無根底る穿質の象徴。

天元は、太陽であり、万物統一の中心、361盤の目盛りは、一年の日数を表し、白黒の基石は、天地陰陽の理を包含する。

万物は流転し、生成発展する。

しかも、その中に、歎然たる秩序があり、全体としては、見事に調和されている。

開基の本質は、調和と秩序にありともいふ。

大胆にして細心、細心にして大胆、その兩極を相備え、大をとり、小を捨て、先後、後急を諂ひなく仄く、常に大局を運営し、万事において、最高の場合はを失さぬことなく、その時、その場において、最高、最高の手を打つこと肝要なり。

一方の基は、人生そのものである。

序盤は、人生の青春時代、夢あり、希望があり。

中盤は、人生の青年時代、徳才兼備、生成花開、創造の時代でもある。

終盤は、人生の老年時代、收穫の時代、実りの時代でもある。

開基の中には、無根の人生訓がある。

急がず、怠わがばず、正々堂々と打つこと。

自外だけが得をしうとい、独善流、食りの心をもたないこと。

耐え忍ぶことば、受け取ることも、最高である。

感情的に反応すことば、相手に利することである。

打ち過ぎて、負けろことを知ること。

失敗の原因は、すべて自己にあり、それと、他に転嫁しないこと。

勝つことはかりが、大切では友人、負けることも、また、大切である。

石には生命があり、愛情が大切である。

石の生命とは、一石一石が、全体の流れと、調和し、脈々として、息づいていることである。

絶対、孤立した石を、打たないことである。

愛情とは、相手を思い、全体を見うばいでおり、自己中心と、全く、反対の心である。

一石一石の衝立の意義、その存在価値を、正しく評価し、認めるこことである。

既に打ち込まれた石に対する、絶対、火の非を責め反いこと。

それは、最大限に使用することを考え、時には、全体の石との関連において、

捨てねじること、使用不可ことも、考え方のこと。

どう考えても、相手の無理解、打ち過ぎであると、考え方には、断手として、争持

するこことない、敵なし、併せてもつこと。

これは、後の最終段階であり、極地でもある。

心、技、体の一体こそ、人間能力の調和、最高の姿である。

棋道の発達、大成を、また、ここにある。

後悔を磨き、体力を鍛錬することは、大前提であるが、一石一石に、精魂を入れ、

棋道の裏面に流れ、打つ心にこそ、人間との裏の繋がりがあり、向上がある。

宏大、深遠、無限の大宇宙の姿そのままで、そして、偉大なる我等が人生を、有限

なる盤上に象徴する。

何と棋道とは、人類の獻智がもたらした、偉大なるゲームであり、藝術でもある。

開基とは、我等が人生の、最高の師であり、最高の友でもある。 以上

上記は、天神義照著「開基のある豊かな人生」より抜断転写したものである。

尚、開基の原稿は半開で、箇句書きに伝承したもののようにです。

私が記録した当時、元奈良坊岩本葉先生が、開基を海外に旅する際に書く方針を、開基の捲付けを、政・財界や文人墨客の脚協力を得て「藝術性豈か日本伝統的文化」と評価されるようですが、それ以前は、開基は将棋と同様、一般的には、勝負争、娛樂の部類に属しているようだ。

(8)